

創立149周年

10月号（令和4年9月30日発行）

kurosyou-dayori



鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

科学技術の進歩と人のあたたかさ

校長 玉置 恭美

夏休み明けの朝会で、夏休みにファミリーレストランに入った際の驚きを話しました。出張先でいったレストランで、接客係ではなく、AIを搭載したロボットの声で「いらっしゃいませ」と迎えられました。ロボットのおなかの部分には画面があり、来店人数をタッチパネルで示すと、「〇〇番のテーブルにどうぞ」というアナウンスが流れました。矢印に示された方向に行くと、指示されたテーブルがあり、オーダーもそのテーブル上のタブレットにて行うシステムでした。タブレットのオーダーは経験があったものの、出来上がった料理をまた別のロボットが運ぶのを見るのは初めてでした。スーパーマーケットでも導入が進む、セルフレジでの清算を終えて店を出ました。お店の人と接したのは、オーブンで焼かれた料理を注文したためか、「熱いのでお気を付けください」という係の人の言葉を聞いたときのみでしたが、その人の表情と言葉にあたたかさと思いやりを感じました。

たてわりピクニックでくろがね野外活動センターへ行った際のこと。雨の後でしたが、みんなの大好きなターザンロープが使用可能となっており、大喜びの児童たちでした。最初に試した子が「最後のところ、おっきな蜘蛛の巣あるよー」と他の子たちに声をかけていました。気づきからみんなに注意を促す優しさがありました。様子を見ようと近づいたとき、湿った地面で滑り、私は転倒してしまいました。痛い、と思った瞬間、左手首に振動がありました。着けていたスマートウォッチに「ひどく転倒したようですが大丈夫ですか」という表示が出て、その上には「SOS 緊急」と表示され、救急への通報も可能な状態になっていました。「大丈夫です」をタップすると、時計表示に戻りましたが、後で調べてみると、反応がなかった場合、振動がしばらく続き、その後周囲へ異常を知らせるべく、アラームが鳴る機能も付いているとのこと。事故や遭難等に対応した高い機能だと感心するとともに、「校長先生ころんだ。大丈夫？」という児童からの声に優しい思いやりを感じました。

驚くような速さで様々な技術の進歩が見られます。より安全、安心に社会生活を支えてくれるツールとして利用していくとともに、人ならではの技術を継承し、対話から生まれるあたたかさ、優しさ、思いやりや顔の見える関係も大切にしたいと思います。

